

## (2020 志文) 総合問題 II

(問題部分 1 ~ 8 ページ)

### 注意事項

- (1) 使用できるもの：黒鉛筆・シャープペンシル・プラスチック製の消しゴム・小型鉛筆削り，時計等「受験者心得」で指示したもの。
- (2) 受験番号欄は各答案用紙の解答欄と評点欄の2か所，氏名欄は解答欄に1か所あります。受験番号は5けたの数字を枠内に1字ずつ明確に記入してください。
- (3) 受験番号および氏名を指示されたところ以外に記入した場合や受験番号の数字が判別できない場合，採点の対象になりません。
- (4) 解答は，黒鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙の所定の枠内に明確に記入してください。
- (5) 答案用紙の裏面には何も記入してはいけません。
- (6) 答案用紙に指示された以外のことを記入しても採点の対象になりません。
- (7) 日本語で字数指定のある解答については，句読点も1字に数えます。2けた以上の算用数字は，答案用紙の1マスに2けたの数字を記入し，1字に数えます。なお，アルファベットは算用数字に準じます。

例：「青 かつ た。」 7字 / 20 20 2字 /

bo ok 2字

- (8) 英語で語数指定のある解答については，句読点は1語に数えません。算用数字は，2けた以上でも1語に数えます。

例：“She’s a student.” 3語 / 2020 1語

1. (配点率 42%) 次の【資料 1】および【資料 2】は、ある大学のコミュニケーション論の授業で配付されたものです。あとの【会話文】は、それらの資料について、受講生のメグミ、ヒロコ、Jeff が交わしている会話です。それぞれの文章を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

【資料 1】

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

注 countryman/countrywoman\* 同国の人

【資料 2】

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

【会話文】

メグミが、授業で配られた資料（【資料1】、【資料2】）をヒロコに渡す。

メグミ：ヒロコ、先週の講義を休んでいたでしょ。授業の最後で配られたプリントよ。はい、どうぞ。次の講義までに読んでおくのが課題なの。

ヒロコ：あ、どうもありがとう。風邪をひいてしまって。もう大丈夫よ。いま読んでいい？

メグミ：ええ。じゃ、図書館へ本を返しに行くから、その間に読んでみて。

ヒロコ：わかったわ。

（メグミが戻ってくる）

メグミ：お待たせ。全部読めた？

ヒロコ：うん、まあまあかな。いくつか質問していい？

メグミ：もちろん。

ヒロコ：このエッセイ（【資料1】）で、筆者は母語以外の言語が話せるのはいいことだと言っているのはわかるのだけれど、第1パラグラフの後半で指摘している問題点がよく理解できないの。

メグミ：ああ、この部分ね。母語以外の言語をよく理解できないと、外国の  
[ ア ] が原因で「排他的な」意識が生まれて、人々が

重要な考え方や新しいやり方を避けるという問題が生じるということを行っていると思うの。

ヒロコ：なるほど。でも、次のパラグラフとどうつながっているのかな。

メグミ：そうね。まず、このパラグラフで言っているのは、母語話者と非母語話者とは英語で話をする相手が違うということね。

ヒロコ：それと第1パラグラフとはどうつながるの？

メグミ：非母語話者は、[ イ ]。つまり、母語以外の言語がよく理解できるので、第1パラグラフで指摘された問題が生じにくいという論理なのかな。

ヒロコ：なるほど。それで第3パラグラフにつながるのね。

メグミ：つまり、筆者によると、言語習得について一般論として言えることは、[ ウ ]ということのようだよ。

ヒロコ：うん、そうか。統計的なデータはないのかな。

メグミ：データは示されていないけれど、科学者の説明があるよ。

ヒロコ：この個所ね。言語と筋肉って何か関係があるの？

メグミ：定期的に運動をしていると筋肉がつくでしょ。

ヒロコ：そうか。つまり、2つ目の言語を習得すると、[ エ ] という理由で、さらに別の言語をもっと簡単に習得できるわけね。

メグミ：そのことは、英語圏へ移住した人たちにもあてはまるのよ。

ヒロコ：ブリティッシュ・カウンシルって何なの？

メグミ：イギリスの公的な国際文化交流機関のことらしいわ。この前ネットで調べたの。

ヒロコ：グラドルさんはその機関の人ね。

メグミ：グラドルさんは、最近の研究に基づいて、[ オ ] と言っているわ。

ヒロコ：イギリスの若い人たちも英語以外の言語を身につけるべきだとも言っているのね。

メグミ：グローバルな企業や団体は、英語以外の言語を身につけている人材を求めているとも指摘しているの。

ヒロコ：あっ、もうこんな時間だよ。これから用事があるの。いろいろ教えてもらって、どうもありがとう。メグミは英語が得意だからうらやましいわ。また連絡するね。

メグミ：じゃ、また。

(Jeffが、同じ授業で配られた日本語のプリント【資料2】を持って現れる)

Jeff: Hi, Megumi.

メグミ: Hi, Jeff.

Jeff: I was looking for you. I need your help. Do you have time?

メグミ: Sure.



2. (配点率 36%) 次の文章は、あるアメリカ人の研究者が日本に滞在したときの体験に基づいて書いた文化論です。英文を読んで、問 1～問 4 に答えなさい。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

注 PhD dissertation\* 博士論文  
shorthand\* 簡潔な説明

問1 下線部(1)は具体的にどのような内容を表しているのか。35語程度の英語で説明しなさい。ただし、次の【 】内に示した語を、順番に、形を変えないですべて用いること。

【 author / tea / waiter / way / wouldn't / mind 】

問2 下線部(2)に相当する概念を4字の日本語で答えなさい。また、その概念と正反対の概念を表す語を本文中から抜き出しなさい。

問3 下線部(3)のカルチュラル・スクリプト(cultural scripts)とは、ある社会の人たちが共有する基本的な考え方や価値観の集合を意味するが、カルチュラル・スクリプトにはどのような役割があるのか。本文の内容を踏まえて、70字以内の日本語で答えなさい。

問4 下線部(4)を日本語に直しなさい。



3. (配点率 22%) 次の文章は、ある言語学の論文の一部です。文章を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

著作権保護の観点から、  
問題は掲載していません。

注 経済性\* この場合は、最小限のことばで効率的に表現すること  
グライス\* ハーバート・ポール・グライス (Herbert Paul Grice 1913- 1988) イギリス  
出身の哲学者・言語学者

問 1 下線部(1)について、本文で示された会話が、どのような状況でジョークとなるのか。  
筆者の説明を踏まえて、下の空所 ( ア ) に入る英文を 50 語程度で答えなさい。  
This conversation can be taken as a joke in the following situation:  
( ア ) .

問 2 下線部(2)は、なぜ経済的な表現形式(an economical form of expression)と言えるのか。  
筆者の説明を踏まえて、下の空所 ( イ ) に入る英文を 25 語程度で答えなさい。  
This expression really means that ( イ ) .